

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公表番号】特表 2008-533048 (P2008-533048A)

【公表日】平成 20 年 8 月 21 日 (2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報 2008-033

【出願番号】特願 2008-501035 (P2008-501035)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/22 (2006.01)

A 6 1 K 31/23 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/085 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/08

A 6 1 K 31/22

A 6 1 K 31/23

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 31/02

A 6 1 K 31/085

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 10 日 (2009.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験者における中耳炎を治療および / または予防する方法であって、
前記方法が、中耳、鼓膜、鼓膜周辺組織、および / またはエウスタキ管を、
多価アルコールの (C 7 ~ C 14) 飽和脂肪族エーテル、多価アルコールの (C 8 ~ C 22) 不飽和脂肪族エーテル、(C 2 ~ C 8) ヒドロキシカルボン酸の (C 7 ~ C 14) 脂肪族アルコールエステル、(C 2 ~ C 8) ヒドロキシカルボン酸の (C 8 ~ C 22) モノ - もしくはポリ - 不飽和脂肪族アルコールエステル、遊離ヒドロキシ基を有する前述の化合物のいずれかのアルコキシル化誘導体、およびそれらの組合せを含む有効量の抗菌成分であって、前記アルコキシル化誘導体が 1 モルの多価アルコールまたはヒドロキシカルボン酸あたり 5 モル未満のアルコキシドを有するが、ただし、スクロース以外の多価アルコールの場合では、前記エステルにはモノエステルを含み、前記エーテルにはモノエーテルを含むが、スクロースの場合では、前記エステルにはモノエステル、ジエステル、またはそれらの組合せを含み、前記エーテルにはモノエーテルを含む、有効量の抗菌成分、ならびに

有効量の、中耳の中への前記抗菌成分の拡散を促進する浸透剤、
を含む抗菌組成物と接触させることを含む、方法。

【請求項 2】

被験者における中耳炎を治療および / または予防する方法であって、

前記方法が、中耳、鼓膜、鼓膜周辺組織、および / またはエウスタキ管を抗菌組成物

と接触させることを含み、前記組成物が：

多価アルコールの（C 7 ～ C 1 4）飽和脂肪族エーテル、多価アルコールの（C 8 ～ C 2 2）不飽和脂肪族エーテル、（C 2 ～ C 8）ヒドロキシカルボン酸の（C 7 ～ C 1 4）脂肪族アルコールエステル、（C 2 ～ C 8）ヒドロキシカルボン酸の（C 8 ～ C 2 2）モノ - もしくはポリ - 不飽和脂肪族アルコールエステル、遊離ヒドロキシ基を有する前述の化合物のいずれかのアルコキシル化誘導体、およびそれらの組合せを含む有効量の抗菌成分であって、前記アルコキシル化誘導体が 1 モルの多価アルコールまたはヒドロキシカルボン酸あたり 5 モル未満のアルコキシドを有するが、ただし、スクロース以外の多価アルコールの場合では、前記エステルにはモノエステルを含み、前記エーテルにはモノエーテルを含むが、スクロースの場合では、前記エステルにはモノエステル、ジエステル、またはそれらの組合せを含み、前記エーテルにはモノエーテルを含む、有効量の抗菌成分を含み、そして

ここで、前記組成物の粘度が 2 3 で 2 0 c p s 未満である、方法。

【請求項 3】

被験者における中耳炎を治療および / または予防する方法であって、

前記方法が、中耳、鼓膜、鼓膜周辺組織、および / またはエウスタキ管を、

（C 6 ～ C 1 4）アルキルカルボン酸、（C 8 ～ C 2 2）モノ - もしくはポリ - 不飽和カルボン酸、前述の脂肪酸の 1 種とヒドロキシカルボン酸とから形成される脂肪酸エステル、およびそれらの組合せを含む有効量の抗菌成分、ならびに、

有効量の、中耳の中への前記抗菌成分の拡散を促進する浸透剤、を含む抗菌組成物と接触させることを含む、方法。

【請求項 4】

被験者における中耳炎および / または外耳炎を治療および / または予防する方法であって、

前記方法が、中耳、鼓膜、鼓膜周辺組織、および / またはエウスタキ管を抗菌組成物と接触させることを含み、前記組成物が：

抗菌性脂質およびフェノール性消毒剤、またはそれらの組合せからなる群より選択される消毒剤を含む有効量の抗菌成分を含み、

ここで、前記組成物の粘度が 2 3 で 2 0 c p s 未満である、方法。

【請求項 5】

被験者における中耳炎を治療および / または予防する方法であって、

前記方法が、中耳、鼓膜、鼓膜周辺組織、および / またはエウスタキ管を、

多価アルコールの（C 7 ～ C 1 4）飽和脂肪酸エステル、多価アルコールの（C 8 ～ C 2 2）不飽和脂肪酸エステル、遊離ヒドロキシ基を有する前述の化合物のいずれかのアルコキシル化誘導体、およびそれらの組合せを含む有効量の抗菌成分であって、前記アルコキシル化誘導体が 1 モルの多価アルコールあたり 5 モル未満のアルコキシドを有するが、ただし、スクロース以外の多価アルコールの場合では、前記エステルにはモノエステルを含み、前記エーテルにはモノエーテルを含むが、スクロースの場合では、前記エステルにはモノエステル、ジエステル、またはそれらの組合せを含み、前記エーテルにはモノエーテルを含む、有効量の抗菌成分、ならびに

有効量、中耳の中への前記抗菌成分の拡散を促進する浸透剤、を含む抗菌組成物と接触させることを含み、

ここで前記脂肪酸エステルまたはそのアルコキシレート誘導体が、抗菌性脂質成分の全重量を基準にして、1 5 重量 % 未満のジ - もしくはトリ - エステルを含み、

ここで、前記組成物の粘度が 2 3 で 2 0 c p s 未満である、方法。